

和地ひとみレポート No.44

いよいよ11月にはプレ国体（リハーサル大会）開催！！
国体開催をどのように東大和市の活性化につなげるかがポイント



■スポーツ祭東京 2013 東大和市実行委員会 第2回総会を開催

…54年ぶりに東京で開催されることになった国体（スポーツ祭東京 2013）がいよいよ来年に迫ってきました。ご存知の方も多いと思いますが、正式種目ではボーリング、デモンストレーションとしてのスポーツ行事としてはスポーツチャンバラが東大和市では行われます。来年の本大会の前段として、今年の11月2日～4日にはプレ国体としてリハーサル大会を開催。いよいよ準備も本格化しています。

…国体開催に向け、東大和市でも尾崎市長を会長とした実行委員会を昨年8月に設立。今年の5月8日には第2回総会が開かれました。今総会では、開催総合基本計画をはじめ各種基本計画が発表され、開催に向けての方向性が示されました。

■ポイントは市民参加と東大和市のPR

…今回、発表された様々な基本計画には「東大和市の魅力を広める」「多くの市民が参加する」という文言が様々な個所で見られました。ここで言うまでもなく国体には日本全国から競技関係者、選手など、多くの方が東大和市を訪れます。スポーツイベントが開催される際、その経済効果などを試算することが多くあります。国体はオリンピックやワールドカップほどのイベントではありませんが、国を挙げての大きなイベントですから、この国体を好機ととらえ、経済効果だけではなく、今、推し進めている観光事業などの大きな弾みにすることは可能です。

…残念ながら、東大和市内には宿泊施設がないため、訪れた方々の飲食などによる大きな経済効果は期待できませんし、市民とのふれあいの場も限定されてしまいます。だからこそ、通常以上の工夫や取り組みを行わなければ、予算や手数をかけただけの結果に結びつけることはできません。また、ボランティアなどの市民参加や市民へのスポーツ普及などの効果についてもプレ大会を本番に活かすことを考えた場合、早めの声掛けが必要です。実行委員会としても準備や具体策、市民への呼びかけなどを早く行い、この秋に開催されるプレ国体を本大会に活かすように準備を進める必要があります。

【スポーツ祭東京 2013 東大和市開催総合基本計画より】

- 市民運動
大会開催の意義について市民の理解と協力が得られるよう各種の市民運動を広く展開し、全国から訪れる方々を温かく迎えるとともに市民自らがスポーツに親しみ、健康で活力あふれるまちづくりを推進する。
- 広報
多くの市民が参加する魅力ある大会を実現するため、各種の広報媒体を利用し、市民・事業者・行政の協働による計画的・効果的な広報活動の推進を図る。
- 観光・歓迎
全国から東大和市へお越しいただいた方を温かい心で迎え、思いやりをもった親切な案内業務を行うとともに、東大和市の文化・歴史・産業等を広く紹介する。

【スポーツ祭東京 2013 東大和市市民運動基本計画】

スポーツ祭東京 2013 に係る東大和市が実施する市民運動関係業務について、東大和市開催方針の趣旨に基づき、その計画を次のとおり定める。

1. 目的

スポーツ祭東京 2013 に向けた市民運動関係業務については、東大和市の開催方針・実施目標に基づき、市民一人一人の参画と協働により全国から集う人々を温かく迎えると共に、「夢と感動」を与える大会運営を推進する。

2. 内容

（基本方針）

- ①世代を超えて幅広くスポーツへの関心と高める。
- ②日本全国から訪れる方々を温かく迎え、心に残る大会にする。
- ③ボランティア活動を展開し、継続的な活動につなげる。
- ④東大和市の多様な魅力を発信する。
- ⑤市民相互の連携や郷土意識の高揚につなげる。

（運動の推進方法）

- ①一人一人の自発的で、多様な活動により推進する。
- ②現在展開されている各種市民運動と連携を図りながら推進する。
- ③関係機関の協力により推進する。

■今年の予算（案）は2,386万円

…今回の総会で提出された今年度予算（案）は約2,386万円。プレ国体を実施するための予算の効果を最大限に出すことが本大会の成功にもつながり、また、今回の様々な基本計画の実現に結びつくと考えます。国体は教育委員会を中心に計画が進められていますが、真の意味での市民参加や市を挙げてのイベントとするためにも、もっと市民に呼びかけ、アイデアなどを募るように教育委員会にも伝えていきたいと思っております。